

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	HTLV-1対策推進費			担当部署	健康局	作成責任者			
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	結核感染症課	浅沼 一成			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	「HTLV-1総合対策」(平成22年12月20日:HTLV-1特命チーム)				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ATL(成人T細胞白血病)やHAM(HTLV-1関連脊髄症)といった重篤な疾病を発症する原因となるHTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)の対策を推進するために、「HTLV-1特命チーム」により取りまとめられた「HTLV-1総合対策」を、国、地方公共団体、医療機関及び患者団体等が連携を図りつつ推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「HTLV-1総合対策」に基づく重点施策を推進するにあたり、患者団体、学識経験者その他の関係者から意見を求めるため、HTLV-1対策推進協議会を開催するための経費。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	3	3	2	2	0		
	執行額	2	1	1					
	執行率(%)	67%	33%	50%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度	
	各都道府県にHTLV-1母子感染対策協議会を設置	HTLV-1母子感染対策協議会の設置数	成果実績	設置数	37	37	39	-	-
			目標値	設置数	47	47	47	-	47
			達成度	%	78.7	78.7	83	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	HTLV-1対策推進協議会等の開催	活動実績	開催回数	9	2	1	-		
		当初見込み	開催回数	9	3	3	3		
単位当たりコスト	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	単位当たりコスト X:「執行額」 Y:「HTLV-1対策推進協議会等開催回数」	計算式	百万円	0.2	0.5	0.6	0.7		
			X/Y	2/9	1/2	0.6/1	2/3		
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	1							
	委員等旅費	1							
	庁費	0							
	計	2	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること										
	施策	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること										
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
		実績値	-	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	「HTLV-1総合対策」に基づく重点施策を推進するにあたり、患者団体、学識経験者その他の関係者から意見を求めるため、HTLV-1対策推進協議会を開催するための経費。											
	改革項目	分野:	-	-								
	KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-			
目標値		-	-	-	-	-	-	-				
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-				
事業所管部局による点検・改善												
事業の効率性	項目									評価	評価に関する説明	
	国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。									○	HTLV-1総合対策を推進することについて、国民のニーズがあり、国費を投入して行うべき事業である。
		地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。									○	HTLV-1総合対策は広域的な対応が必要であり、国が直接実施すべき事業である。
		政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。									○	HTLV-1総合対策を推進することで、感染症の発生・まん延の防止を図るという政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。
	競争性の確保	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。									-	
		一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。									-	
		競争性のない随意契約となったものはないか。									-	
		受益者との負担関係は妥当であるか。									-	
		単位当たりコスト等の水準は妥当か。									○	必要最低限の経費のみ計上しており、コストの水準は妥当である。
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。									-	
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)									○	当初予定していた開催回数を下回ったため。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。									-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。									○	成果実績は成果目標に見合ったものになっている	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。									-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。									△	会議前の準備に時間を要し、会議開催が遅れたため、見込みに届かない活動実績となった。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)									-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名								-	

点検・改善結果	点検結果	平成22年9月に、総理官邸にHTLV-1特命チームが設定され、HTLV-1対策について検討が進められ、同年12月20日に「HTLV-1総合対策」が取りまとめられた。HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルスⅠ型)の感染者は、全国に100万人以上と推定されており、ATL(成人T細胞白血病)やHAM(HTLV-1関連脊髄症)といった重篤な疾病を発症する可能性があることから、国は、地方公共団体、関係機関、患者団体等との密接な連携を図り、総合対策を協力的に推進することとされている。このため、患者団体、学識経験者その他の関係者から意見を求めるため、今後もHTLV-1対策推進協議会を定期的に開催する必要がある。成果実績は、目標値に近づいており、引き続き適正に事業を実施したい。
	改善の方向性	引き続き、適正な事業の実施に努める。

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	新24-0016
平成25年度	116	平成26年度	125	平成27年度	133

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
0.6百万円

【事業内容】
・HTLV-1対策推進協議会の開催経費

↓

【随意契約(少額)等】

A. 事務費

- ・諸謝金 0.2百万円
- ・委員等旅費 0.3百万円
- ・速記 0.1百万円

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委員等旅費	HTLV-1対策推進協議会出席旅費	0.3			
	諸謝金	HTLV-1対策推進協議会出席謝金	0.2			
	庁費	HTLV-1対策推進協議会の速記	0.1			
	計		0.6	計		0

